

業種別業界景気動向調査結果

当所管内の概要

○調査時点／令和2年9月1日 ○調査対象／当所管内の中小企業者等140社 ○回答企業数／135社(回答率96.4%)

*DI値(景気動向指数)

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

DI値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

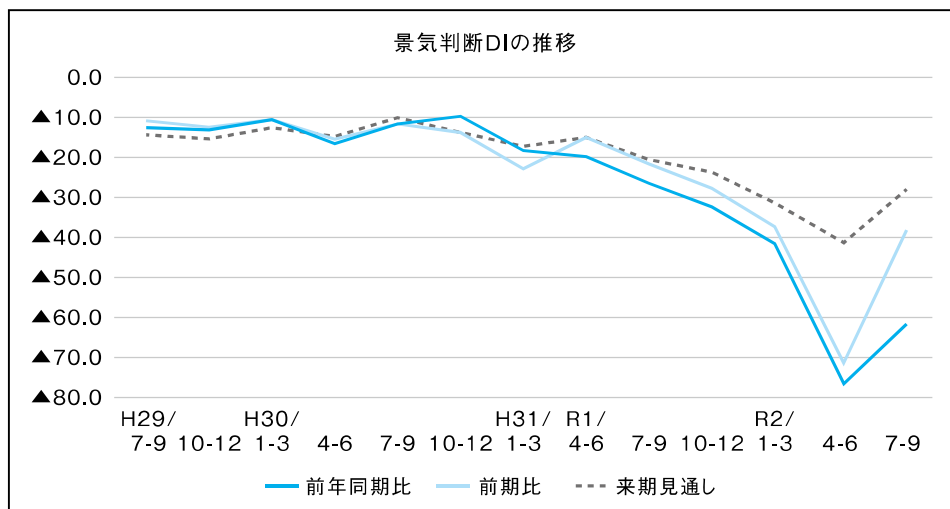
概況<今期(令和2年7月~9月期)の概要>

景気判断DIは、マイナス幅縮小。持ち直しの動きがみられるものの、先行きに慎重な見方。

景 気判断DIは、新型コロナウイルス感染への警戒感が続く中、経済活動の一部再開に伴い、全ての業種でマイナス幅が縮小。消費者の外出自粛や企業の営業自粛等は続くものの、市内の感染状況が抑制されていることから、街には人が戻りつつあるとの声が寄せられた。巣ごもり生活等の新しい需要により一部小売業等の売上が回復する一方で、県を跨ぐ外出自粛要請の影響を受け、観光業やサービス業は一段と厳しい状況が続いている。

先 行きについては、景気判断、業況判断DIは縮小しているが、秋口以降の感染状況に対する警戒感強く、慎重な見方が続いており、力強さに欠ける。新政府の経済政策に期待したい。

I. ①管内景気動向 景気判断DI(「上昇した企業割合」-「下降した企業割合」の指数)



前年同期比ベース	▲61.5 (↑14.4)
前期比ベース	▲36.3 (↑34.5)
来期(先行き)見通し	▲28.1 (↑12.8)

②その他DI

業況判断DI	
前年同期比	▲54.8 (↑9.4)
前期比	▲36.3 (↑27.2)
来期見通し	▲34.1 (↑5.3)

売上高DI	
前年同期比	▲58.5 (↑7.2)
前期比	▲30.4 (↑30.9)
来期見通し	▲34.1 (↑6)

雇用DI	
前年同期比	3 (↑5.9)
来期見通し	7.4 (↑7.4)

採算DI	
前年同期比	▲50.4 (↑9.5)
来期見通し	▲37 (↑6.1)

II. 業種別景気判断天気図

業種	前年同期比	前期比	来期	コメント
製造業				<ul style="list-style-type: none"> ・外食、会食減少の影響を受け、売上が減少傾向にある。(食品製造) ・新型コロナウイルスの感染防止対策として、受付カウンターに飛沫防止パーテーションを設置。次亜塩素酸水を空中噴霧し、空間除菌等を実施している。(業界団体)
建設業				<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる景気減退の影響で先行きが不透明である。(汚水処理施設設計施工) ・コロナの関係で特別な措置はとっていない。(総合建設)
卸売業				<ul style="list-style-type: none"> ・秋口からコロナウイルスが再拡大すると事業の継続が難しくなる。(生活雑貨) ・コロナの長期化で全ての業種で統廃合が加速。生き残り競争を正々堂々と勝ち残りたい。(中古車販売)
小売業				<ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金のおかげで、エアコンの売れ行きが好調。巣ごもり需要と暑さ対策で、テレビ、冷蔵庫等も好調。秋以降が心配である。(業界団体) ・外出を控えるため、顧客の来店数が減っている。ただ、以前より少し街に人が戻ってきたように感じる。感染予防に努め、安心して買い物ができる環境を整えていく。(婦人服) ・前期と比べると、売上高は回復しつつあるものの、県内感染者の増加などにより、消費者マインドの上昇には遠く、先行きは不透明である。(百貨店)
サービス業				<ul style="list-style-type: none"> ・GoToトラベルキャンペーン実施中だが、コロナウイルス感染拡大の助長の危険性があり観光業の復興にはなっていない。(旅行) ・年内は家賃補助もあり営業継続は可能だが、年明け以降は厳しい。(ゲストハウス) ・マスク、消毒、感染予防シートに関するグッズ、ゴミ箱の変更、自動消毒器、タオルの交換に関わる替えの準備などコロナによってかなりのランニングコストが増えている。しかし、これが優良店の証明になると思う。(エステティック) ・利益の減少により、合併が進行している。(保険代理店)
その他の業				<ul style="list-style-type: none"> ・今後、従業員の家族や接触者に体調不良の方が出てきた際、休業を本人が希望したり、会社側が要請するということが起こる可能性があり、人員不足がますます深刻になると思われる。(貨物運送)

凡例					
	特に好転	好転	不変	悪化	特に悪化

トピックス

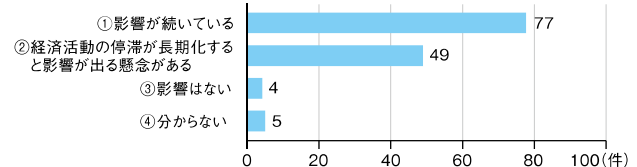
新型コロナウイルスの感染拡大について(回答企業:135社)

●新型コロナウイルスによる経営への影響について

新型コロナウイルスにより、「経営に影響が生じている」と回答したのは77社であった。また、「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」と回答したのは49社であった。

業種問わず、新型コロナウイルスの影響を受けている企業は、全体の93%である。

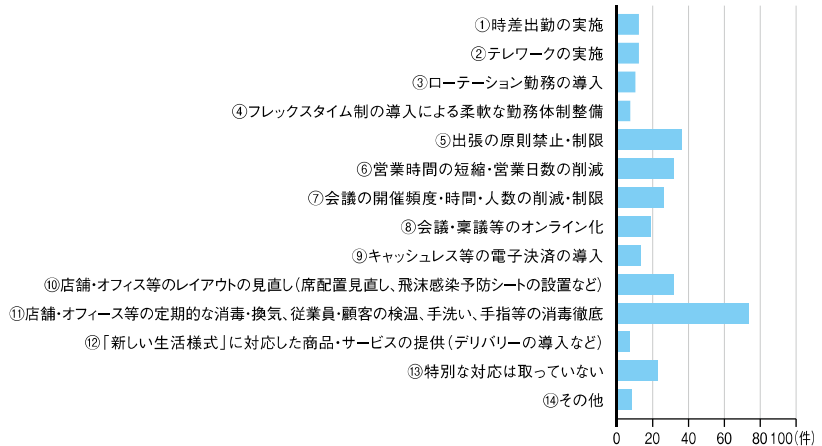
新型コロナウイルスの感染拡大による経営状況について(回答企業:135社)



●事業継続と感染防止拡大の両立にあたって実施している(または既に実施した)対応について(複数選択可)

事業継続と感染防止拡大の両立にあたって実施している(または既に実施した)対応について、「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」と回答したのは73件であった。特に、小売業やサービス業で多くみられた。業種問わず、多くの企業で新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っている。

事業継続と感染拡大防止のため実施している(実施した)対策について(回答企業:135社)



※詳細は、高松商工会議所ホームページ(URL <http://www.takacci.or.jp/>)をご覧ください。

本件問い合わせ先 ————— 高松商工会議所 会員活動推進課 TEL825-3501